

1月26日は
文化財防火デー

文化財防火デーとは？
昭和24年1月26日に、世界最古の木造建築物である法隆寺（奈良県）の金堂において火災が発生し、十二面壁画（仏画）の大半が焼損しました。
この火災をきっかけに、国民の文化財愛護意識の高揚を図るため、昭和30年消防庁と文化庁の共唱により、1月26日を文化財防火デーとして定めました。

上島町の国指定重要文化財
祥雲寺観音堂

岩城西部地区



1431年に建造された観音堂であり、昭和25年に国の重要文化財として認定されました。

定光寺観音堂

弓削土生地区



天井板に1463年の墨書があり、これが建立の年とされ、昭和52年に国の重要文化財として認定されました。

平成29年11月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	合計	H29累計
火災	0	0	0	0	0	3
救急	16	6	12	7	41	423

(平成29年11月30日現在)

【上島町消防署】☎77-4118



消防団長挨拶



中継ポンプ



歩けない人を2階から救出！



煙が充満した屋内から救出！

林野火災対応力向上を目指して
積善山林野火災対応訓練
11月19日（日）、岩城積善山山頂付近で林野火災が発生したと想定し、上島町消防団岩城方面隊と上島町消防本部による中継送水訓練を行いました。
訓練では、三叉路トイレの防火水槽から、火災想定現場まで約1,200メートルの林道に、中継ポンプを6台設置し、消防ホースにより中継送水しました。
林野火災が発生した際には、迅速な消火活動が求められる中、相互の連携強化を図る訓練が出来ました。

消防力の向上を目指して
消防署内訓練
11月30日（木）、消防署訓練塔において、鉄筋コンクリート造の建物火災を想定した署内警防訓練を実施しました。
消防署では、消防活動に対する知識と技術の向上及び隊員相互による共通認識を持った活動を目指し、全署員による各種訓練や研修会を毎月実施しています。今後も創意工夫しながら研修訓練を継続し、総合力を向上して行きます。

平成30年消防出初式

●日時
平成30年1月28日（日）
10時開式

●場所
弓削小学校グラウンド

●内容
小型ポンプ操法・ポンプ車操法・分列行進など、消防団員が日頃訓練した成果が披露され表彰式が実施されます。見学は自由となっております。見学は自由となっておりますので、気軽にご来場下さい。

※雨天の場合は、弓削町民体育館で表彰式を実施します



目標とする樹形

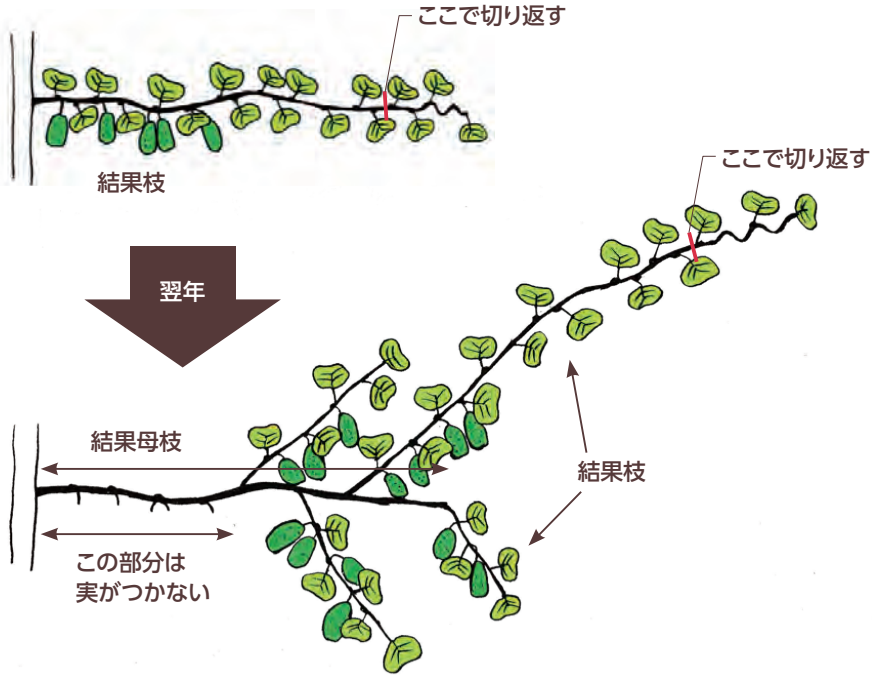


図1 結果習性

4m以上間隔があく場合は垂主枝をとるようにします。主枝の長さは3m以上確保したいところです。主枝、垂主枝が4m間隔で平行に配置できれば、あとは長さ150cm程の結果母枝を50cmおきに棚付けし、それ以外の枝を落とせば剪定は終了です。結果母枝は、先がまき始めたところで切り返します。

棚付けする結果母枝は長さ70～150cmが理想ですが、ない場合は、枝を移動したり、短い結果母枝も使ったりして空間を埋めていきます。1m当たり3本の結果母枝があれば、反収2.5tが見込めます。7月、8月に出た枝を捻枝して結果母枝を確保しておくこと剪定の時に困らずに済みます。（図2参照）

目標とする樹形
1本が4×6mの5cmメッシュの棚栽培とします。
主枝2本とし、50cmごとに左右に150cmの結果枝を配置します。魚の骨のように枝が配置されるのが理想です。

結果習性
4月に前年の枝（結果母枝）から伸びた枝（結果枝）の基に実が付きます。この結果枝や、4～7月に出て実をつけなかった枝が翌年の結果母枝になります。結果枝の実のついた部分からは実をつける枝（結果枝）が出ないので、続けて利用すると、実のなる部分がどんどん先になつてしまいます。そのため、より主枝に近いところから出た結果母枝に更新する必要があります。（図1参照）

剪定
まず主枝を決めます。主枝と主枝の間隔は4mで、平行して伸ばすのが理想です。

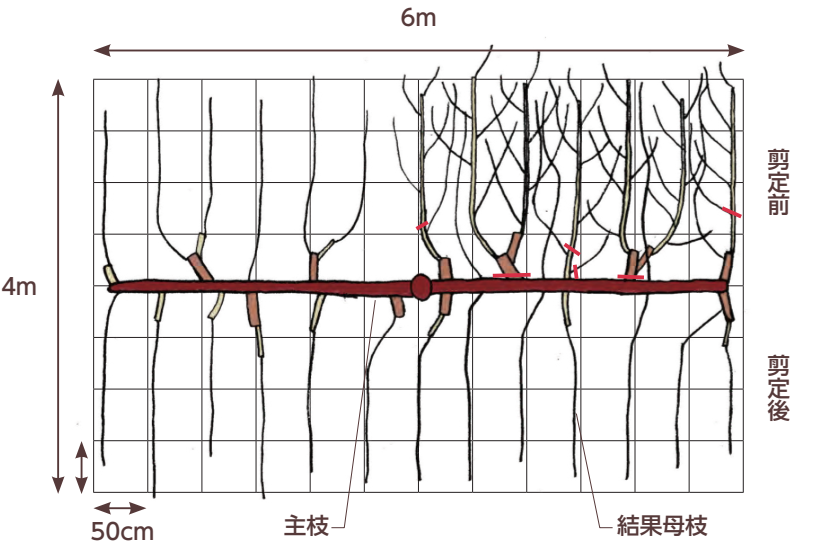


図2 剪定